

| | | | |
|------------------------|---|---------------------|--------------------------|
| 演題名 | 電気代削減対策の見直し | | |
| 施設名 | ケアセンターけやき | (ふりがな) 発表者(職種) | (さわだ みなと) 澤田 港(介護福祉士) |
| (ふりがな) チーム名 | (けあせんたーけやき せいさんせいこうじょういいんかい) ケアセンターけやき 生産性向上委員会 | | |
| 分類 | ④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの | | |
| 取り組種別 | 問題解決型 | | |
| 改善しようとした 問題課題 | 電気基本料金削減 温暖化・電気代の高騰の影響から冷房費が増える懸念があるため、前回の施策を継続・改善し、今年の夏に向け取り組む。 | | |
| 改善の指標と その目標値 | (指 標)基本料のベースとなるデマンド値の理解広めて、節電を促進し電気代削減 (目標値)2024年3月までに2022年同時期と比較しデマンド値を30%削減 | | |
| 実施した対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・節電物品の追加 ・共有部の照明管理を各部署に割り当てる ・委員会での進捗状況の確認 ・節電呼びかけるポスターの作成 ・デマンド説明会の上映 ・各部署朝礼等の送り時でのその日のデマンド値の周知 | | |
| 改善指標の 対策実施 前後の変化 | (実施前)2022年4～6月 デマンド平均値 86.6 (実施後)2024年4～6月 デマンド平均値 68.0(21.4%減) | | |
| 歯止めと 標準化 | 標準化:節電対策、管理一覧表を作成し各部署で周知を行なう 管理:毎月委員会で対策の進捗を確認、節電の促しを行う 教育:施設内研修でのデマンドの説明会動画の上映 | | |
| 活動の種類 ※複数選択可 | ①職場単位の活動 ②複数の職場が連携した活動 ④組織全体で取り組んだ活動 | チーム メンバー (職種) | 1 澤田 港 介護福祉士 |
| 活動の場 ※複数選択可 | ③管理部門 ④その他 | | 2 笹川 義弘 介護福祉士 |
| 活動期間 | R5.12～R6.6 | | 3 松崎 裕統 言語聴覚士 |
| リーダー名 (職種) | 澤田 港(介護福祉士) | | 4 阿部 慎太郎 介護福祉士 |
| 活動回数 | 7 回 | | 5 島田 聡美 ケアマネージャー |
| | | | 6 平井 敏男 介護福祉士 |
| | | 7 島山 智貴 事務 | |
| | | 8 吉田 卓 作業療法士 | |
| | | 9 | |
| | | 10 | |
| | | 11 | |
| | | 12 | |
| | | 13 | |

【現状把握】



現状把握 (前回の対策の現状)

| 対策 | 具体的内容 | 現状 |
|----------------|---------------|-----------------|
| 節電物品の設定 | ウォッシュレット 節電機能 | ウォッシュレットのみ |
| ルールの再共有 | 空調温度変更のルール | 部署によって曖昧に |
| 節電の指示と推進 | 互いに節電の呼びかけ | 人により差がある |
| デマンドシステムの浸透と対応 | 説明会を設定 | 定期的に行なえていない |
| 情報の共有 | デマンド値をメールにて共有 | メールが手間で継続出来ていない |

【目標設定】

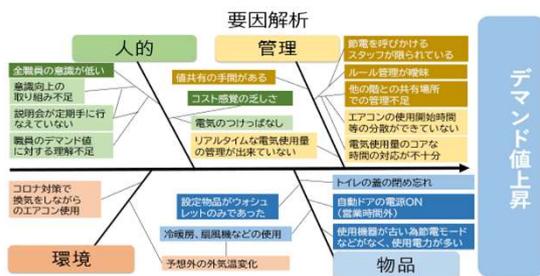
目標設定

3月までに8月～9月利用分の基本料金を

対2022年度同時期比

30%減

【要因解析】



要因解析：重要要因の検証

| 要因 | 事実確認 | 特性値への影響 | 判定 |
|-----------------|---|---|----|
| 設定物品が1つのみ | ウォッシュレットのみで節電の取り組みが、検討出来ていなかった。 | ベースの消費電力を抑えるのに他に検討する余地は十分にある | ○ |
| ルール管理が曖昧 | 共有部分での曖昧さがある | 特に1F共有部分の責任所在が曖昧であった | ○ |
| 職員の節電・コストへの意識低下 | 節電への呼びかけは決まった職員しか実施出来ていない。 定期的な研修が出来ていない | 互いに声かけしないと意識は薄れ、結果電力消費に繋がる アンケートから職員の半数が理解できていない現状 | ○ |
| 職員の節電・コストへの意識低下 | デマンド値の共有が出来ていない | 確認して共有し、各委員が確認では2度手間 | ○ |
| 機材が古く節電機能がない | エアコンやサーキュレーター、冷蔵庫等古い型の物品が多数報告として挙がった。 | 古いものもあるが、今回は新たに物を追加することは今回の取り組みでは除外 | × |

【対策の立案と実施】

対策の立案・修正

| 重要要因 | 1次対策 | 2次対策 | 3次対策 |
|-----------------|---------------------|----------------------|---------------------------|
| 設定物品が1つのみ | 他の節電物品が無いか調査 | Googleフォームにて募集 | 節電物品の追加 |
| ルール管理が曖昧 | 共有部分の節電対策対応の振り分けを行う | 相談室・休憩室・トイレを割り当て | |
| 職員の節電・コストへの意識低下 | 呼びかけあえるシステムを作る | 節電の呼びかけのポスター設置 | |
| 職員の節電・コストへの意識低下 | 定期的なデマンド研修 | 教育委員会に協力を仰ぎ全体研修に相談 | 8月に研修が実施されたため、デマンドの説明会も実施 |
| 職員の節電・コストへの意識低下 | 定期的にデマンドを共有できるようにする | 委員がシステムにアクセスできるようにする | 各部署での周知 |

対策の検討

カットオフ値：20点

| 対策 | 効果 | 実現性 | 経済性 | 継続性 | 重要性 | 緊急性 | 得点 |
|---------------|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 節電物品の追加設定 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 24 |
| 共有部分の割り当て | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 25 |
| 委員会での周知 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 24 |
| ポスター掲示 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 23 |
| デマンド説明会の設定 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 24 |
| デマンド値を各部署での周知 | 4 | 5 | 5 | 4 | 5 | 5 | 23 |

対策の実施

| NO | 対策 (why) | When | Who | Where | What | How |
|----|------------------|-----------------|--------------------------------|----------------------|--------------------------------|-----------------------------|
| ① | 節電物品の追加設定 | R5.12～ | 松崎 | エントランス 各部署 | 自動ドアを エアコンを | 不常用時に節電モードに切り替え 又はOFFにする |
| ② | 共有部分の割り当て | R5.12～ | 事務 (豊川) 通リハ (高田) 訪問 (高田) | 廊下 事務室 事務室内トイレ | 照明を | 不常用はOFFにする |
| ③ | 委員会での確認 | R5.12～ | 澤田委員長 | 休憩室 | 節電の取り組みを行っているか | 進捗の確認を行う |
| ④ | ポスター掲示 | R6.1～ | 高田 | スタッフルーム | 節電呼びかけの ポスターを作成し | 掲示する |
| ⑤ | デマンド説明会実施 | R6.4～ (実施3回) | 吉田 | フロア | デマンド説明会動画を 上映する | 上映する |
| ⑥ | デマンド値を 各部署で周知 | R5.12～ | 各委員 (確認は別部) | 各部署内 | その日のデマンド値を メール (送付済) にて周知する | |

対策の実施①節電物品の設定



対策の実施②共有部分の割り当て



対策の実施③委員会での確認

節電の取り組みの進捗確認・促し実施



対策の実施④ポスター掲示

ポスターの掲示

節電実施のポスター

+

職員への呼びかけポスターを掲示
(スタッフゾーン)



対策の実施⑤デマンドシステム研修実施

教育委員会に協力を要請
⇒年度の研修計画に絡込む
時間の合わない職員がいる
⇒電気料金の仕組みに関するサイト閲覧

職員全体の電気代システムの理解を深める



日本テック/<https://service.n-techno.co.jp/denki/>

対策の実施⑥情報の共有

メールで周知

↓ 手間...

電力会社のサイトから直接閲覧
生産性向上委員会は**全員閲覧可**
各部署にて使用量を周知



【効果の確認】

効果の確認

デマンド値

4月 ~ 6月 平均値

2022年

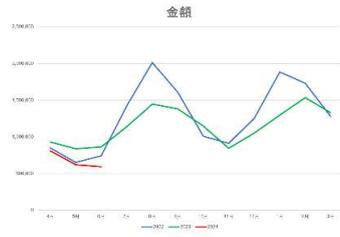
86.6

2024年

68.0

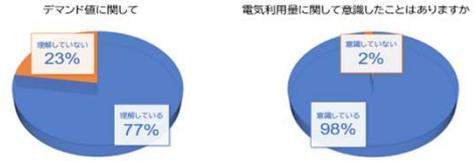
21.4%減

効果の確認（有形効果）



効果の確認（無形効果）

・電気代に関する理解や節電意欲アンケート(2024.6月時点)



【標準化と管理の定着】

標準化と管理

| 区分 | 対策 (why) | when | where | Who | what | how |
|-----|----------|------|-------|---------|------------|----------|
| 管理 | 状況確認 | 毎月 | 休憩室 | 薄田委員長 | 対策の進捗を | 確認・促しを行う |
| 標準化 | 節電一覧表作成 | 6.6~ | 各部署 | 西川 | 節電対策管理一覧表を | 作成・周知する |
| 教育 | 施設内研修 | 年一回 | フロア | 教育委員 吉田 | デマンドの研修を | 実施する |

【反省と今後の進め方】

反省と今後の課題

| 活動内容 | 良かった点 | 悪かった点 |
|--------|-------------------------------------|---------------------------------|
| テーマの選択 | スタッフから意欲的に取り組みたい意見が聞かれ迅速にテーマを決定できた。 | 特になし |
| 現状把握 | 前回の経験からスムーズに現状把握を実施出来た。 | 特になし |
| 目標設定 | スタッフの意欲の高さから以前より高い目標をたてられた。 | 目標数値に対する根拠が薄かった。 |
| 要因解析 | フォームを活用し効率的に進めることができた。 | 対面で話し合う時間が取れなかった。 |
| 対策立案 | 前回の至らなかった点を加味し、質の高い対策を講じた。 | 新たな取り組みの意見が少なかった。 |
| 対策実施 | 各自が積極的に動き、かつ他の委員会も巻き込んで取り組めた。 | 特になし |
| 効果確認 | 前の取り組みを基に行なったためスムーズに行えた。 | 特になし |
| 標準化 | これからも毎月の委員会で行うため、節電に努める意識が継続出来ている。 | 特になし |
| まとめ | 節電への意識が一層高まり、結果としても電気代削減に繋がった。 | 夏場の冷房により電気代が高まるため、そこまで結果を追いいたい。 |

ご清聴ありがとうございました。

